

「働く場」の資金協力をお願い

ー地域の中でいきいきと働きながら共に暮らせるようにー

特定非営利活動法人

障害者自立センターつかいぼう

私たちは、障害のある人たちの新たな働く場（作業所）の計画を進めています。どうかこの活動に賛同いただき、働く場の資金づくりにご協力をお願い致します。

■ご送金方法

寄付金は、事務局まで直接お持ちいただくか、下記口座へのお振込でご送金ください。

ゆうちょ銀行 ○八九（ゼロハチキュウ）店
00820-9-107429 （ゆうちょ銀行からのお振込）
当座預金 0107429 （ゆうちょ銀行以外からのお振込）
障害者自立センターつかいぼう

■お問い合わせ・ご連絡先

特定非営利活動法人

障害者自立センターつかいぼう

〒502-0843

岐阜市早田東町 8 丁目 4-1

パセール長良 1F3 号

TEL 058-215-7374 FAX 058-296-5343

E-Mail tsukkaibo@ip.mirai.ne.jp

URL <http://www.ip.mirai.ne.jp/~tsukkaibo/>

※ 裏面もどうぞご覧ください。



「働く場」の建設資金のご協力をお願い

私たちは1992年(平成4年)に初めての作業所「つながり亭」を作りました。

「どんな重い障害を持っても(責任を持って)働ける事・街の中で生きる事・仕事を通して社会と関わる事・仕事のある自分らしい生活を作る事」を目標に掲げ、岐阜市で一番小さい作業所と言われながら仲間の手で樽酒をわって応援してくれるみんなとお祝いスタートを切ってから18年がたちました。

4年後には仲間も増え手狭になりロウソク工房ヴァリエーションを作りました。みんなで作ったキャンドルを新しい作業所にいっぱい灯して二つ目の作業所のスタートをお祝いすると共に決意を新たにしました。

働くようになって念願の一人暮らしを始めた人、車いすで電車に乗って通ってくる人、仲間や地域とのつながりの中で働くことに誇りや生きがいを感じながら、生活が少しずつ変わっていきました。

しかし、実現できない課題も山積しています。

低い工賃、その人にあった仕事を作り出せない事、居心地の良い場になりえなかった事…。誰もが来れる場所を目指していて、実は誰にとっても不十分な場所になっていたのではないかと、悔いの残る事、これからの運営に生かすべき事が多くあります。

自立支援法の下では新しい事業体系に移らねばなりません。今の作業所では新体系には基準が満たず新たな場が必要です。

これを機会に超一念発起して、借家ではなく新しい天地・永遠の私たちの地域を求め新しい建物を建てることにしました。私たちにとって、建設は初めての仕事で今は不安と期待でいっぱいですが、準備をする中で新しい場所では「あんなことしたい、こんなことしたい…」の授産種目の見直しや「こんな部屋・設備が欲しい…、誰にとっても利用しやすい…」と夢や希望が出てきています。

しかし、新しく土地を買い建物を建てるには5,000万円以上の私たちにとっては莫大なお金が必要です。補助なし、すべて自己資金となります。これまでつかいぼう全体で資金の準備もしてきましたが、働く場の建設の後には、生活の場作りが控えています。つかいぼうでは既にヘルパーを利用して自分らしい生活を送っている人たちも多いのですが、家族との生活が限界に近づいている人たちや親から自立して新しい生活を築きたいと願う人たちもあり、ひとまずグループホーム・ケアホームの必要性を痛感しています。

個性豊かなもっと多くの仲間たちと出会い地域で共に生き続けていくには、働く場、生活を豊かにする活動の場、生活の場や色々なサービス等社会資源が必要で、これからも息の長い活動を続けていかななくてはなりません。私たちの目標として、この2年間(2010年4月から2012年3月)で1,000万円のご寄付を募りたいと思います。

どうかこの活動にご賛同いただき、働く場の建設資金のご協力をお願い致します。